

復活節  
教説

# 復活が私たちが立ち上がらせる

＜ハネによる福音書 20：1～18＞



李 明 信 牧師 (大阪教会)

復活の喜びが皆さんのうえにあるように。春は命の季節です。凍りついた大地が息を吹き返し、散ってしまったかのように見えた花も再び芽を出します。しかし、私たちの人生には、春ではなく、「終わり」のように感じられる朝があります。愛する人を失った朝、健康不良を知らされた朝、長く抱いてきた夢が崩れた朝です。

最初の復活の朝も、喜びに満ちた朝ではありませんでした。ヨハネ20章1節はこう語ります。「週の初めの日、まだ暗いうちに、マリアは墓へ行った。」そこには歓声も希望もありません。ただ、悲しみと喪失だけがありました。しかし、まさに「まだ暗いうちに」、神の御業はすでに始まっていました。石はすでに転がされ、死の力は打ち破られていたのです。

マリアはそれを知りませんでした。空の墓を見ても、すぐに復活を理解することはできませんでした。「主が取り去られた」と思ったのです。私たちも同じです。神の働きを、自分の理解の枠の中で解釈しようとします。しかし神は、私たちの思いをはるかに越えておられます。十字架は失敗ではなく救いの道であり、墓は終わりではなく新しい始まりでした。

コリントの信徒への手紙一 15章20節は語ります。「しかし今や、キリストは眠りについた人々の初穂として、死者の中から復活された。」「初穂」とは、これから後に続く豊かな収穫の始まりを意味します。イエス・キリストの復活は単なる一度の奇跡ではなく、私たちの未来に向かう命の出発点なのです。

復活の出来事は、空の墓で完結しませんでした。涙に暮れるマリアに、復活の主は語られました。「マリア。」名前を呼ばれた瞬間、彼女の目は開かれました。復活とは、教理の理解以上に、人格的な出会いなのです。主は「群衆」としてではなく、「一人の存在」として私たちに会ってくださいます。そして今日も、ひとりひとりの名を呼んでおられます。

イエスは彼女に言われました。「わたしにすがりついてはならない。」それは拒絶ではなく、新しい信仰への招きでした。

過去の姿に留まるのではなく、復活し、今も生きておられる主を信じなさいという宣言です。信仰とは、思い出を守るのではなく、生きて働かれる主と共に歩むことです。

そして主はマリアを遣わされました。「行って告げなさい。」涙の人が、最初の証人となりました。神は完全な人を求めておられません。主に出会った人を用いられます。復活の喜びは、心の中に留まるものではなく、周囲へと広がる命です。

2026年を生きる私たちもまた、不安定な時代のただ中にいます。経済の揺らぎ、人間関係の緊張、将来への不安。しかし復活は、過去の出来事ではなく、今日の力です。絶望の中で再び祈る人、傷の中で再び愛する決断をする人、倒れても立ち上がる人——そこに復活の証しがあります。

マリアが墓に着いたとき、石はすでに転がされていました。彼女はまだ気づいていなかっただけです。私たちの人生においても同じです。まだ暗く感じる状況の中であっても、神はすでに働いておられます。

復活の主は言われます。「恐れるな。わたしは生きている。」この復活の恵みが、私たちの中心となり、教会を新しくし、この時代を生きるすべての人に希望をもたらしますように。



## 韓日対照聖書販売



各ページの左に韓国語(改革改正訳)、右に日本語(新共同訳)が掲載されています。

- A5版変型・1760ページ、革製
- 価格：4,000円(消費税・送料込)

※お求めは総会事務所へ

## 韓日対照讃頌歌販売



韓国の新讃頌歌版です。交読文も韓日対照で掲載されています。

- B6版変型・1483ページ
- 価格：2,500円(消費税・送料込み)

※お求めは総会事務所へ

全国女性会

# 第27回聖書セミナー開催

## 尊厳～隣人を自分のように～テーマで

全国教会女性連合会（教育局）と関東地方教会女性連合会との共催で、第27回聖書セミナーを2月11日（水/休）～13日（金）に横浜教会と川崎教会を会場にして開催された。

開会礼拝ではメンセンディーク・ジェフリー牧師（桜美林大学准教授・兼大学チャプレン米国合同教会牧師・宣教師、日本キリスト教団東北教区センター・エマオ主事）により「福音の記念として」という題目で説教があった。

開会礼拝後、ジェフリー牧師による「尊厳の学び～他者、そして自分を大切にするために」というタイトルで講演、グループワークが行われ、約3時間の講演であったが、グループワークでは参加者同士が実体験を語り、笑いあり、涙ありで、あっという間に時間が過ぎた。

講演後は横浜教会女性会の心のこもった美味しい夕食による愛餐会を持ち、その後の水曜祈禱会に参席、祈りの時間には、5地方女性会の祈禱課題も共有した。

2日目の朝の祈禱会は朴栄子牧師による「友とよぶ」という題目で説教があり、祈禱会後には2回目のグループワークを行った。10のグループに別れ、それぞれ違った聖書箇所が与えられ、その内容の中で「尊厳」が守られているかなどを分かち合った。発表では、いくつかのグループは寸劇を行い、学ぶだけでなく、尊厳を自分事として考える、表現する時間となった。

その後は、李明忠牧師による横浜教会の歴史、石橋総務による横浜宣教の歴史の話があり、横浜中華街へ出発。昼食後に横浜海岸教会、横浜開港資料館、横浜指路教会を訪問した。

3日目は川崎教会に移動。教会見学と崔江以子さんのお話（ヘイトを許さない！）と引率によるフィールドワーク、宋富子名誉長老（川崎）のお話と金迅野牧師による川崎教会の歴史・現



状のお話のあと、閉会祈禱会が行われた。

そして、川崎教会女性会による美味しい昼食。内容たっぷりの、感謝と笑顔あふれる2泊3日のセミナーであった。

「尊厳」とは何か、どうしたら自分と他者の尊厳を守れるのかなど、多くを学ぶ機会となり感謝が満ちあふれた。

（報告：李好子教育局長（小倉教会））

西新井教会

# 崔清洛長老将立式挙行

## 在日2世として5代目の長老



2026年2月8日（主日）午後4時半から、西新井教会において崔清洛長老の将立式が関東地方会の各教会から多くの方々が集まる中、厳粛に行われた。

臨時堂会長金根湜牧師の司会によって礼拝が始まり、総会長の張慶泰牧師による「神の前に託された職分」（Ⅱコリント4：1～2）という題目の説教があった。

長老将立式は関東地方会長の金迅野牧師の司式により進められ、紹介、誓約、接手、宣布が出された。

この度、西新井教会の視務長老として将立された崔清洛長老は、1956年日本で生まれ、1985年から執事として長らく奉仕してきた。家族は夫人の宋斗喜勸士と3男1女がいる。

千葉教会

# 李鶴奎長老将立式挙行

## 勸士就任及び名誉勸士推戴も兼ね



2026年2月22日（主日）、千葉教会では李鶴奎長老の将立式と高順烈勸士就任式、朴順点名誉勸士推戴式が行われた。

関東地方会の各教会から大勢の方々が集まった式典には、先ず堂会長の金明均牧師の司会によって礼拝が始まり、総会長の張慶泰牧師による「聖い手」（出17：8～13）という題目で説教があった。

関東地方会長の金迅野牧師の司式により長老将立式が進められ、紹介、誓約、接手、宣布が出された。

この度、千葉教会の視務長老として将立された李鶴奎長老は、1965年韓国で生まれ、2014年から千葉教会の執事として仕えられた。家族は夫人の高順烈勸士と2男1女がいる。

## 第58回 総会期 委員会組織

### ●常設委員会

委員会	委員長	書記	会計	委員
宣教	李重載	韓承哲（準）	梁律子（準）	李明忠、金明均（名古屋）、宋南鉉、辛治善
教育	蔡銀淑	姜玲玉	咸美羅	金聖泰、石橋真理恵、李成俊
社会	申容燮	咸美羅（準）	金恵心（準）	金伸禹、李大宗、李相徳、金承熙 佐藤信行（準）、尹善博（準）
神学考試	朴栄子	李明忠	崔亨喆	李珍容、李明信、金承熙、林明基（準）
信徒	尹鐘憲	金聖泰	梁律子（準）	具滋佑、梁陽日、金炯振、趙顯奎、李重載（準）、崔美恵子（準）、李銀珠（準）
憲法	中江洋一	柳町功	黄文錫	金根湜、金秀生、崔美恵子、尹善博
救済基金	金勝正	吉井秀夫	金秀生	姜章植、尹鐘憲、李恵蘭
財政	吉井秀夫	金光成	高在道	金恵珍、崔美恵子、崔日承
監査	申大永			李大宗、森克之

### ●特別委員会

委員会	委員長	書記	会計	委員
平和統一会議準備	李明信	金大賢	崔亨喆	金光成、申大永、金成彦
憲法・規則等改正検討	柳町功	李正子（準）	黄文錫	中江洋一、高文局、李明忠（準）、尹善博（準）、吉井秀夫（準）、李珍容（準）、崔美恵子（準）
カナダ長老教会在日宣教100周年	趙顯奎	孫信一	鄭詩温	金成彦、森克之、金恵榮（準）金炳鎬（準）、David McIntosh（準）

中部地方会

# 合同信徒研修会 開催 ～三浦綾子の信仰と文学～をテーマに

中部地方会は毎年春分の日に合同信徒研修会が行われているが、今年も3月20日に権ヨセフ牧師(恵泉キリスト教会小平チャペル担任牧師)を講師として迎え、「三浦綾子の信仰と文学」という主題で、信徒合同研修会を名古屋教会で開催した。

開会礼拝には中部地方会長の李珍容牧師が、「被造物に現れており」(ローマ1:20)という題の説教が行われた。

講義は午前と午後1部と2部で行い、1部では「三浦綾子の『道ありき』～綾子を愛した人々」の題で、綾子の生涯や闘病、入信、結婚、また彼女に影響を与えた3人の人物が紹介された。

2部では「宣教師、三浦綾子～三浦文学は宣教文学」という題で、三浦の文学を通してクリスチャンになった人々が紹介され、また教養の部門や和解のためにも用いられたことが紹介された。

講義の後はグループ別に集い、講義の内容を持ってお互いの意見を交わし合う時間が設けられた。

今度の研修会では中部地方会に属した8つの教会、約40人の信徒が集まり、恵み深い時間を設けることができた。



西部地方会

# 信徒修養会を開催 「イエスが私の主人」主題で講義

西部地方会の信徒修養会が、2月22日(日)から23日(月)にかけて、韓国「水枝(スジ)喜びの教会」の金元泰牧師を講師に迎え、神戸「しあわせの村」にて開催された。

開会礼拝では、武庫川教会の梁榮友牧師が「主の言葉を聞くとして」という題で御言葉を伝えた。

続けて「イエスが私の主人である」という主題をもって、金元泰牧師による三度の講義がなされ、イエスを信じることは、神の御子であられるイエスを主として迎え入れ、自分の思いではなく主に従うことであることが、聖書の御言葉を通して、ユーモアを交えながらわかりやすく説かれた。

また、西部地方会青年連合会による賛美の時間も設けられ、主にある御恵みに満たされた修養会となった。

今回は、コロナ禍による中断後初めての開催であったが、51名の参加者が与えられ、信徒間の交わりを深める機会ともなったことは、大きな喜びであった。

(報告: 西宮教会 孫信一牧師)



西南地方会

# 正初査経会を開催 主題「数えられる人たちの福音」で

2026年3月8日(主)午後4時から午後6時30分まで博多教会(ライブ配信)において大雪警報によって延期されていた正初査経会及び都諸職会が行われた。

講師は尹善博牧師(博多教会)、主題は「数えられる人たちの福音」(サムエル下24章1節～10節)であった。プログラムは、午後3時40分から受付と讃美の時間、午後4時から5時50分まで査経会、午後6時から6時30分まで都諸職会の順で行われた。

講師の尹善博牧師は、西南地方会の宣教100周年の歴史を振り返り、西南地方会のアイデンティティを九州地域に居ざるを得ない人々が苦難の中でも互いに支え合い、伝道をしてきた信仰共同体であると述べた。

その後、地方会長の尹善博牧師の司会のもと、各教会の現状報告と祈りの時間をもった。

ライブ配信を含め、41名が参加した。

(報告: 辛治善)



日本宣教協力会

# 第10回日韓合同祈祷会開催 「歴史から学ぶリバイバル」テーマに

2026年3月8日(日)午後3時より、日本宣教協力会主催による第10回日韓合同祈祷会が大阪教会にて開催された。今回のテーマは「戦後80周年、歴史から学ぶリバイバル」であった。祈祷会は金沢牧師の司会で進められ、講師として袴田康裕牧師と洪伊杓牧師が講演を行った。

袴田康裕牧師は「戦前・戦中における日本と韓国の教会——二人のカルヴィニストの比較を中心に」と題して講演した。袴田牧師は、当時の教会が国家権力に抵抗できず屈服した理由について、「どこで神学を学んだかではなく、その神学がどれほど内面化されていたかにかかっている」と強調し、参加者に深い示唆を与えた。

続いて、洪伊杓牧師は「日本帝国が残した『自己絶対化』の誘惑と今日の課題」という題で講演した。洪牧師は、日本帝国主義の自己絶対化が韓半島の政治に及ぼした歴史的教訓を詳しく解説した。また、元山大復興運動を取り上げ、ハディ宣教師の悔い改めを紹介しながら、「新しいリバイバルの歴史は、自らを絶対化してきた罪を告白するところから始まる」と語り、講演を締めくくった。

講演後は、①弱さや苦しみの中にある人々と教会のため、②日韓両国民の和解と両教会の宣教協力のため、③世界平和のため、④日本宣教1%の壁を越えるため、などを主題として各代表が祈りを捧げ、最後に全員で合同祈祷を行った。



東京希望キリスト教会

## 夫奉秋長老が召天 教会奉仕の他、民団活動等も参与



2026年2月15日、東京希望キリスト教会の夫奉秋長老が天に召され、具滋佑牧師の司式によって葬儀が行われた。享年77歳だった。

故・夫奉秋長老は1949年韓国の済州道で生まれ、1970年に受洗、2010年に東京希望キリスト教会長老として就任後、教会の発展のために仕えた。

針灸師としての奉仕や民団の活動にも多く尽くした。その他済州道民協会会長、大韓老人会東京支部の会長なども歴任した。

神戸東部教会

## 李芸求名誉長老が召天 「セツンの家」設立にも尽力



2026年2月23日、神戸東部教会の李芸求名誉長老が韓国のソウルにて召天した（享年92歳）。

故・李芸求長老は1933年韓国のソウルで生まれ、2000年に神戸東部教会の長老として将立されてから2004年に名誉長老に推戴された。

阪神淡路地震後の神戸東部教会の復興のために尽くし、全国教会女性連合会の会長、社会福祉法人「セツンの家」の副理事長などを歴任した。

## 第1回常任委員会 開催

### 牧師長老研修会再開は日程調整が困難に

2026年3月24日、おKCC会館（大阪）において、第58会期第1回常任委員会が開催された。常任委員24名中21名が出席し、陪席として特別委員会委員長3名、全国女性連合会総務1名が出席した。

この常任委員会においては、まず、任員会、各地方会、各機関、常設委員会、特別委員会からの報告があり、加えて、以下の案件が審議され、承認された。

- (1)第58回定期総会議録案は確認し、次の定期総会での承認事項であるため、会議録案に訂正・修正箇所があれば、書記宛に連絡することにした。
- (2)西部地方会所属の広島教会の宗教法人規則改正案については、主務官庁から修正を求められた場合にはその修正に従う前提で、承認した。
- (3)カナダ長老教会の在日宣教100周年記念事業準備委員会の委員交代を承認した。（金恵栄準委員に、新委員は森克之長老に）

## 5地方会の定期総会案内

### <関東地方会 第77回 定期総会>

- ・日時：4月29日（水）11：00
- ・場所：横浜教会（李明忠牧師）  
神奈川県横浜市中区打越39 TEL045-252-8015

### <中部地方会 第63回 定期総会>

- ・日時：4月30日（木）11：30
- ・場所：千曲ビジョン伝道所（金炯振牧師）  
長野県千曲市大字戸倉2004-7 TEL026-466-6635

### <関西地方会 第77回 定期総会>

- ・日時：5月6日（水）10：00
- ・場所：京都教会（李成俊牧師）  
京都市右京区西院北矢掛町20 TEL075-311-5051

### <西部地方会 第41回 定期総会>

- ・日時：4月29日（水）10：30
- ・場所：西宮教会（孫信一牧師）  
兵庫県西宮市中殿町4-33 TEL0798-34-0150

### <西南地方会 第76回 定期総会>

- ・日時：4月29日（水）11：00
- ・場所：別府教会（趙顯奎牧師）  
大分県別府市石垣東3-3-25 TEL0977-27-2564

(4)信徒委員会から、7月12日に予定されている各教会の「青年主日」礼拝開催について、総会長名で各教会に要請文を送付することが承認した。

(5)コロナで中断されていた牧師長老研修会の再開は日程調整が困難であるため、長老研修会として開催すること、7月19日～20日に開催することが承認された。



## <公告> 2026年 総会奨学生 募集案内

総会神学生として各地方会にて認定され、1年を経過した者が申請できます。書類は総会事務局にお問い合わせください。

- 募集人員：3名 ○支給金額：年額 200,000円 / 1人
- 支給期間：1年間（受給者は、継続して新たな申請必要）
- 必要書類：①奨学金申請書 ②在学証明書 ③成績証明書 ④履歴書 ⑤堂会長推薦書 ⑥総会神学生認定書（各地方会試取部） ⑦各地方会長承認書
- 書類提出先：総会事務局
- 締め切り：2026年4月30日必着